

令和7年度(2025年度)「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

学校名	嬉野市立嬉野中学校	生徒数 306 人
-----	-----------	-----------

I.取組前の宣言内容

宣 言	目 標	不読率 0 を目指して～あなたに身近な図書館を～
	取組期間	令和 7 年(2025 年) 4 月 1 日 ～ 令和 7 年(2025 年) 11 月 30 日

※令和7年(2025年)4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和7年(2025年)11月30日までの取組みとする。

II.取組後の評価

*取組内容紹介（特に力を入れたもの）

① 読書環境整備

・**蔵書の充実**：予算を細かく分け新刊の購入回数を増やし、常に新しい本がある図書館を生徒に印象付けている。生徒の読書傾向に応じた選書の他、リクエストも積極的に受け付けている。新刊貸出の際は教室へ新刊案内を掲示するほか、昼の放送でも案内を行っている。



映像化作品コーナー

・**テーマ展示**：図書館入口の棚を活用し、季節や行事に合わせたテーマ展示と映像化作品の展示を行っている。映像化作品コーナーは生徒の関心が高く、展示した本は常に貸出中で予約も多い。

・**面出しリンク**：昨年度 5,000 冊の除籍と NDC に基づく配架の見直しを実施したことで書架に余裕が生まれ、面出し展示が可能となった。そこで、掃除担当の生徒が面出しを行い、本を借りた生徒が次の本を面出しそる「面出しリンク」という取組を始めた。生徒の視点を活かした書架展示により、多くの生徒が幅広い本に触れるきっかけとなっている。また、担当する生徒にも図書館の本に興味を持つきっかけとなり、貸出へつながった。



面出しを行う様子

・**新聞活用**：本校は今年度 NIE 実践校に指定されており、玄関の新聞コーナーでは 6 社の新聞が閲覧できる。各社の特徴がわかるよう、歴史、発行部数などを紹介する掲示を作成し、合わせて展示している。

また、図書館内では「図書館教育ニュース」を掲示し、毎回のテーマに沿った本の紹介や間違い探しクイズもあわせて掲示している。



NIEコーナー

・**しおり・ブックカバー配布**：貸出 10 冊ごとに配布するしおりは、アンケートで寄せられたリクエストをもとに、2カ月ごとにテーマを替え作製している。貸出目標の 50 冊を達成した生徒には、好きな紙バッグを選ばせ、ブックカバーにして渡している。使用する紙バッグについては、職員に協力を呼びかけ取組の周知を図った結果、生徒への声かけも増えた。



ブックカバー

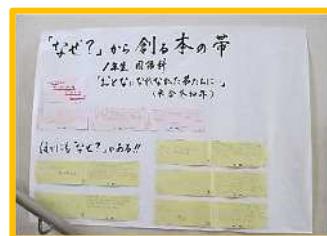
② 授業連携

・**オリエンテーション**：選んだ本を 3 分ずつ順番に試し読みする「味見読書」と、LibraryNAVI(ライブラリー・ナビ)を用いた図書館の利用案内を行った。味見読書の際に蔵書をじっくり見て回ったことで、蔵書の幅広さに気づき、図書館に足を運ぶきっかけとなった生徒が多く見られた。図書館について知ってもらうため、作成したものは職員にも配布を行った。



LibraryNAVI

・**本の帯づくり**：一年生の国語の授業『大人になれなかった弟たちに…』終了後に、「本の帯づくりをしたい」との相談を受け、ゲストティーチャーとして本の帯の説明を行い、担当の先生の相談しながら使用する帯の作成を行った。



完成した帯は図書館入口に掲示し、参観日には保護者へも見てもらったほか、図書館内に日替わりで本に巻いて展示を行った。



作品展示

③ 委員会による広報活動

・アンケート実施：全校生徒を対象に図書館利用に関するアンケートを実施した。利用が少ない生徒からの「年間貸出目標を達成できなかった理由」、「図書館に置いてほしい本」に対する回答を図書館運営に反映させ、利用促進につなげることができた。

・おすすめの本紹介：「夏」、「秋」をテーマにPOPを作成、展示した。展示された本を読んだ生徒には感想カードを書いてもらい、紹介した委員へ渡した。

本を通した交流を目的に、POPを市内の中学校でも活用していただいた。

「秋の読書推進月間」には、全校生徒一人一人におすすめの本をカードに書いてもらい、図書委員が学級ごとに模造紙にまとめ各教室に掲示した。

掲示の作成には、図書委員以外にも多くの生徒が協力し、各学級個性の光るものに仕上がった。



他校での活用の様子



・委員会だより発行：図書館だより「となりの図書館」、委員会だより「つながる図書館」を両面で発行し、イベントや各クラスの多読者の「推し本」の紹介などを行った。

④ 図書館まつり

・先生当てクイズ：先生方の幼い頃の写真とおすすめの本をヒントに、紹介している先生を当てるクイズで、毎年好評の企画である。正解者には後日行われる抽選会への参加券を配布しており、これを目的に普段利用しない生徒の来館も多数見られる。



・広辞苑カルタ大会：広辞苑に掲載されている言葉が書かれた取り札と、その意味が書かれた読み札を用いたカルタである。賞品を用意して参加者を募集したところ、応援者も含め、普段来館しない生徒が多数来館していた。先生の参加もあり、盛り上がりを見せた。



⑤ 地域との連携

・嬉野図書館の企画への参加：「嬉野市読書活動推進月間」に図書館で行われた好きなテーマで特集コーナーを作るという企画に、嬉野中図書委員会として参加した。「ザ・青春」というテーマで、学生生活に関する本を10冊選書し、図書館に展示していただいた。



・地元書店のイベントの活用：佐賀県書店商業組合が行っているクーポン券配布のイベントを図書館だよりで紹介したほか、生徒会予算を活用して本を購入し、クーポン券をいただいた券は、図書館まつりで行った抽選会の景品として活用した。

ちょっとそこまで…
町内でおでかけをして、「読書の秋」を感じませんか。

② 古賀書店

2,000円以上本を買うと、500円クーポンがもらえるそうです。
これはかなりお得です☆ 本を買う予定がある人は、ぜひ古賀書店へ♪
図書館まつりの景品にも1枚準備しています。お楽しみに(*^-^*)♪

⑥ 多様な子どもたちへの対応

・学校生活支援員と連携した定期来館の働きかけ：校内適応教室を利用している不登校傾向のある生徒に対し、学校生活支援員と連携し、登校時にいつでも図書館を利用できる環境を整えている。

対象生徒からのリクエストも選書に反映するとともに、読書傾向に応じた本の紹介や読後の感想を共有するなど、次の登校時も来館しやすい働きかけを行っている。対象生徒が本来読書好きであることも幸いし、来館時の司書との対話を楽しみにしており、生徒の登校意欲にもつながっている。

また、その他の適応教室の生徒や特別支援学級の生徒に対しても、個別の声かけや本の紹介、読み聞かせなどの対応を行い、生徒の読書意欲の向上につなげている。